

ボート部

四方美咲さん アジアジュニア選手権で銀メダル！

10月11日～14日、シンガポールで開催された2017 Asian Youth Olympic Games Qualification Regatta & 2017 Asian Rowing Junior Championships (アジアジュニア選手権)に、鹿屋体育大学漕艇部の四方美咲さん(スポーツ総合課程1年)が、女子ダブルスカル(2人乗り。他団体所属選手との出場)にU19の日本代表として出場し、見事銀メダルを獲得しました。

四方さんは、「去年の優勝(4人乗り)に続き2連覇を目指していたので、入賞はできたがやっぱり悔しい想いが強く、これからも国際大会で戦っていきけるような選手になりたいと改めて思い、どんな環境やコンディションでも実力を十分に発揮できるよう練習



表彰式の様子(左端が四方さん)

に励みます」と振り返りました。また、同部顧問の中村夏実准教授は、「日々、心身の準備・ケア、また道具へのメンテナンスや扱いが大変丁寧。そういう当たり前の事への意識が高いことが質の高いトレーニングを可能とし、成績へ結びついている。さらなる飛躍を期待したい」と絶賛しました。

蒼天祭

羽ばたけ
大空へ

財団
月報

蒼天祭2017



盛り上がる観客

編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827 (直)
編集兼発行人 風呂井 敬



名物マッスルコンテスト



脚力を試した?! 大縄跳び



スポーツパフォーマンス研究棟見学・体験ツアー



白熱したドッジビー



会場が一体となったダンス発表



留学生も活躍!



子ども達も参加したパン食い競走

11月11日・12日の2日間、鹿屋体育大学の学園祭「蒼天祭」が開催されました。

天候が心配されましたが、両日も晴天に恵まれ、文字どおりの「蒼天祭」となりました。

今回は「Just Do It」をテーマに、ステージでは蒼天祭名物「マッスルコンテスト」や豪華景品が当たる「ビンゴ大会」、「歌うまコンテスト」といった毎年恒例の企画や、「ダンス発表」「部活動対抗大縄決定戦」「ベタリングパワーチャ

レンジ」といった体育大らしい企画などが行われました。また、ゲストに「レイザーラモン」「なかにゃんこ」を迎えたお笑いライブでは会場中が笑いに包まれ、大いに盛り上がりしました。

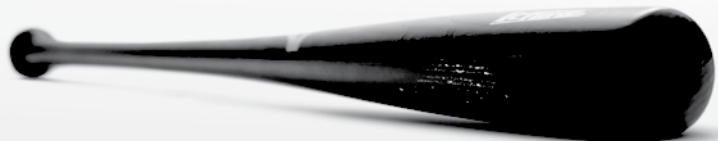
さらに、屋外トレーニング広場の広場で行われた「パン食い競争」には一般の方も多数参加。大学開放事業として行われた「スポーツパフォーマンス研究棟見学・体験ツアー」にも子どもから大人まで多くの参加があ

り、投球測定システムによるピッチング測定、フォースプレートによる50m走の測定などを体験していました。

その他にも、模擬店や大学の教育研究に関するパネル展示、サッカーの応援企画などが行われ、多様な企画で来場した方々を飽きさせない学園祭となりました。

スポーツが好きだ。その理由はいろいろあるが、一番はチームプレーである点だ。団体競技はチームで戦っているということ、競技も一人で行っているわけではない。監督やトレーナー、同じ競技をがんばっている仲間、応援してくれるサポーター、支えてくれる家族。たくさんの人たちが助け合って競技が成り立っている。そして「勝たせたい」、「楽しみたい」等、様々な想いの後押しで、関わっているチームのメンバーそれぞれが自分の役割を超えて支え合い、有機的に絡み合うことで、想像していなかった結果が出たり、多くの人を感動させたりすることができると決意して一人では不可能なことがチーム力でどんどん壁がなくなり可能になっていく。それは、一般のレベルでやっているスポーツでも変わらない。趣味で楽しんでやっていることもいろんな人と繋がることで楽しみがどんどん増えていく▼そんなことを考えながら日々の仕事をしています。スポーツだけでなく仕事もチームで進めていることに改めて気づく。決められた役割はもちろん大事だが、それだけが前向きに役割を超えていくことで、成果も大きくなり、達成感も出てくると思う。机上の自分の役割だけに縛られることなく、チーム鹿屋でがんばっていききたい(T・U)

わかくこ



あなたと一緒に。
来る日も来る日も、練習に打ち込んできた。何度も何度も、困難な壁を打ち破ってきた。そんなあなたを、誰より一番近くで見続けてきたから。
あなたがあんなに涙した理由も、あなたがあんなに笑顔をみせた理由も、わたしにはわかる。
成功の陰に失敗は尽きない。それでも。
明日は、きっと、できる。
そうあなたが自分を信じてわたしを手にする限り、あなたと一緒に挑み続けたい。

九州大学サッカーリーグ 「鹿屋体育大学対九州産業大学」の 応援イベント開催!

11月11日、鹿屋体育大学サッカー場にて九州大学サッカーリーグ「鹿屋体育大学対九州産業大学」の応援イベントが開催されました。

このイベントは、大学スポーツを通して地域活性化を目指す「日本版NCAA」「KANNOYAモデル」の取組の一つとして、同大の学園祭である「蒼天祭」にあわせて行われたもの。当日はサッカー場周辺に仮設観客席、飲食ブースを設置。1300枚用意されていた応援用のオリジナルTシャツは試合開始30分前には配布終了となり、サッカー場はお揃いの青いTシャツを着た多くの観客で賑わいました。

試合は前半開始早々に片井巧さん（スポーツ総合課程4年）のゴールで先制、後半にも澤居道さん（同3年）の鮮やかなボレーシュートで1点を追加し2-0とリードするも、相手に攻め込まれる苦しい時間帯が続く。81分と82分にコーナーキックから連続失点。悔しい引き分けとなりましたが、ゴール前の攻防では観客席から歓声が上がるなど、子どもから大人まで、多くの方が生での試合観戦を楽しんでいました。鹿屋体育大学では今後も、地域活性化を目指し大学スポーツを通じた様々な取組を行っていく予定です。



当日配布されたTシャツと
マッチデープログラム



大和谷健太さん 日本トレーニング科学会で 「奨励賞」受賞

10月7日、8日に開催された第30回日本トレーニング科学会大会（日本体育大学）において、鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程1年の大和谷健太さんが学会賞「奨励賞」を受賞しました。本賞は、学会大会における一般研究発表が優秀で、今後その研究成果が大いに期待される発表者に贈られるもの。今回は、90名の発表者の中で最優秀賞に1演題、奨励賞に6演題が選出されました。

受賞対象となった研究テーマは、「1分程度の競技種目のパフォーマンス向上を目指したトレーニングプロトコルの開発」で、陸上の400m走や水泳の1000m等、短時間で勝敗が決する競技のパフォーマンスを向上させることを目的としたインターバルトレーニング中のエネルギー代謝を測定したものの。この1分程度という短時間インターバル運動時のエネルギーを定量化した研究報告が、希有であることが評価されていると受賞となりました。

指導教員の荻田太教授は、「ベテラン研究者を含めた中で、修士課程1年での受賞は非常に珍しい例であり、大和谷君の研究に対する真摯な姿勢と日々の努力が報われたことがうれしい」と喜びを述べ、大和谷さんは、「苦しい研究に協力いただいた方への感謝を忘れず、又この受賞に恥じないように今後も精進し、このトレーニングを実践に活かせるような研究に励みたい」と受賞の喜びと今後の抱負を述べました。



（向かって左から）指導教員の荻田教授、松下学長、大和谷さん、副指導教員の奥谷講師

異文化交流会を初開催 鹿屋体育大学学生と 鹿児島大学留学生会参加

10月28日、鹿屋体育大学において、鹿児島大学等11名の総勢94名は、歓迎レモニーを兼ねた昼食の後、各種スポーツで汗を流しながら交流しました。KUFSAのフットサル経験者と、鹿屋体育大学サッカー部員が対戦したフットサルでは、レクリエーションらしからぬ白熱した試合になる等、どの種目も大いに盛り上がり、様々な立場の参加者が言葉や国の壁など感じさせない楽しい時間となりました。

また、スポーツ交流後は、参加者の母国パールの唄や手品の披露、鹿児島大学留学生のなぎな

この交流会は、両大学の留学生と交流がある鹿屋体育大学イスラムモハモド・モニル准教授の「鹿屋体育大学の広大な敷地を活用して留学生の交流を促進したい」という思いが発端で、両大学留学生と日本人学生の交流を目的に実現したもの。

鹿屋体育大学36名、鹿児島大学47名、鹿屋市民等11名の総勢94名は、歓迎レモニーを兼ねた昼食の後、各種スポーツで汗を流しながら交流しました。KUFSAのフットサル経験者と、鹿屋体育大学サッカー部員が対戦したフットサルでは、レクリエーションらしからぬ白熱した試合になる等、どの種目も大いに盛り上がり、様々な立場の参加者が言葉や国の壁など感じさせない楽しい時間となりました。



大型二種免許から
大型二輪免許まで
取得可能です



大型二種・普通二種・大型一種・中型一種・大型特殊
普通一種・大型二輪・普通二輪・AT限定解除・中型限定解除

鹿児島県公安委員会指定

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校

送迎バスも
ご利用できます

入校日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057
鹿児島市今坂町10115番地
TEL (0994) 43-4141

すべての消費者のために!!



寿スポーツ

Kubota 農業機械
株式会社
三木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿児島市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】

鹿児島・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま
鹿屋支店

鹿児島市大浦町11423番地1
0994-42-2181



ノルディックウォーキング教室を開催

鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センターでは、9月30日に「ノルディックウォーキング教室」を開催しました。

3回目の開催となる今回の教室には学外から25名が参加しました。同大学の中垣内真樹教授によるノルディックウォーキングと健康づくりに関する理論講習の後、鹿児島ノルディックフィットネス協会の指導者からボールの扱い方や歩き方の基礎を学びました。慣れないボールに最初はぎこちないウォーキングだった参加者も、最後にはスムーズなウォーキングができ「体力に合わせてコースを選べるので、無理なく楽しく参加できた」とノルディックウォーキングについて基本を知ることができて、充実していたと、ボールを使ったノルディックウォーキングの効果を実感していました。



桑田真澄氏による野球教室を開催

11月4日、鹿屋体育大学にて公開講座「桑田真澄氏による野球教室」が開催されました。

この講座は、東京2020応援プログラムとして、地域の子どもたちへの野球教室を開催するとともに2020東京オリンピックの意義について考えることを目的としたもの。指導者に読売ジャイアンツなどで活躍した桑田氏らを引き、鹿児島県内の中学生61名が参加



して行われました。桑田氏はキャッチボールやノックなど、それぞれの練習で気をつける点について丁寧に指導。参加者は真剣な表情で話に聞き入っていました。また、最後に桑田氏によるピッチングの実演も行われ、現役時代を彷彿とさせる見事なコントロールと球筋に参加者から歓声が上がりました。終了後、桑田氏は「子ども達が一生懸命取り組んでくれた嬉しかった」「上手くなるためには1球1球考えて練習することが大事。色々な視点を持って練習に取り組んでほしい」「挨拶・礼儀の大切さ、友達と協力すること、努力することなどを野球を通じて学んでほしい」と語りました。また、参加者からは「とても楽しかった」「普段の生活でも大切なことを学ぶことができた」などの感想が聞かれました。

日本水泳連盟の測定合宿が行われました！

10月26日、27日、鹿屋体育大学において日本水泳連盟測定合宿が行われ、リオ五輪メダリストの萩野公介選手（株式会社ブリヂストン）、江原騎士選手（自衛隊体育学校）、小堀勇真選手（ミズノスイムチーム）ら自由形のトップ選手20名及び平井伯昌コーチ（東洋大学、リオ五輪日本代表監督）らコーチ5名、スタッフ2名が来学し、屋内実験プールにて各種測定やトレーニングを行いました。

本測定合宿は、JSC（日本スポーツ振興センター）による次世代タレントスポーツの育成・支援事業として、日本水泳連盟が実施したもので、2015年度から毎年実施。選手は合宿中、抵抗測定システム（MADシステム）による泳速・抵抗関係及び最大推進パワーの測定や流水プールでの最大酸素摂取量（VO2max）の測定などを行いました。

今回初めて同大学での測定合宿に参加した萩野選手は、「この測定で得たデータをしっかりと理解して今後のトレーニングに活かしていきたい。そして来年の日本選手権、その先の東京五輪につなげていきたい」と語りました。



流水プールでの最大酸素摂取量測定の様子

OB永田宏一郎氏

(元世界陸上選手権日本代表選手)

母校で“陸上教室”講師を務める

10月29日、2020年かこしま国体に向け、地域における中学生を中心とした陸上選手の意識と競技力の向上を図るため陸上教室（中・長距離）が開催（主催：鹿屋市）され、鹿屋体育大学OBで元世界陸上選手権日本代表の永田宏一郎氏（鶴翔高等学校教員・鹿児島県）が、講師として招かれました。当日は、あいにくの悪天候により体育館での実施となりましたが、現役時代の世界レベルの活躍は「人と同じこと（練習）をしても人と同じ（結果）でしかない」と人一倍の努力を重ね、続けた結果であったこと等、実体験を交えた教室内容に、参加者も保護者も大満足の様子でした。



永田氏（写真中央）を囲んで

課外活動団体紹介



女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は、部長・監督の木葉一総先生のもと、日々チーム一丸となって練習に取り組んでいます。「絆・誇・信～全ては勝つために～」をチーム理念に掲げ、個人がチームのためにそれぞれの役割を果たそうと努力しています。全日本大学バスケットボール選手権大会で優勝することを目標にしています。チーム理念の通り、チームのためにコートで戦う選手、チームのために声を出す選手、チームのためにビデオをとる選手、チームのために大会を運営する選手など、それぞれがチームのために行動し自分たちの役割を果たしています。今後の大会でもチームメイトを大切に、チームで勝ちにいききたいと思います。また、日常生活から気を配り「オンとオフ」「T.P.O」を常に心がけています。社会に出ても恥ずかしくない人を目指し、大学生として勉学にも励んでいます。また、中高生を対象とした公開講座（サマーキャンプ）や審判活動を通して、地域の方々と交流し、地域の活性化とともにバスケットボールの普及にも貢献したいと考えております。その一環として、公開講座では、部員がより主体的に指導内容や指導方法も考え、将来指導者になるための実践力を身につけております。

今後とも、鹿屋らしい攻守共にアグレッシブなハッスルバスケットを展開していきます。応援されるチームとなるよう日々精進して参ります。応援の程、宜しくお願い致します。

今後とも、鹿屋らしい攻守共にアグレッシブなハッスルバスケットを展開していきます。応援されるチームとなるよう日々精進して参ります。応援の程、宜しくお願い致します。

汲取の御注文
浄化槽の管理

鹿屋市許可 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う
運転免許のことなら

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

まっすぐに。正直に。

大湊酒造株式会社

〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話 (0994) 44-2190 FAX (0994) 40-0950

○未成年の飲酒は法律で禁じられています。
○健康の為、飲み過ぎに注意しましょう。
○妊娠中、授乳期の飲酒はお控えください。
○飲酒運転は絶対にやめましょう。

スポーツパフォーマンス研究棟だより

第10回

「産学官連携によるスポーツ合宿まちづくり推進事業」の紹介

（甲斐智大特任助教）

鹿屋体育大学では、プロスポーツ選手の自主トレ等を誘致する「産学官連携によるスポーツ合宿まちづくり推進事業」を鹿屋市及び民間団体と連携して実施しています。平成22年度から始まった本事業は、今年で7年目を迎えます。本学では、主に、専門機器・施設を用いた動作測定や身体能力測定、食事のアドバイス、トレーニング場所の提供等で、アスリートのパフォーマンス向上に寄与しています。

（スポーツパフォーマンス研究棟ホームページはhttp://splab.nits-k.ac.jp/）

スポーツパフォーマンス研究棟では、昨年度、本事業により女子プロ野球選手や社会人野球選手、陸上選手、プロゴルファー、プロテニスプレイヤー、Jリーガーなど多岐にわたる競技の選手が測定、トレーニングを行いました。今年度も数多くのトップアスリートが測定を行っていました。これまでご紹介してきた



女子プロ野球選手の測定



プロサッカー選手のトレーニング

博士後期課程論文指導研究会及び連携大学院教育プログラム交流会を実施

鹿屋体育大学では、10月31日、11月1日、2日に大学院体育学研究科博士後期課程及び3年制博士課程の学生に対して、学位論文（博士）の作成に向けて、その研究に関して助言し、きめ細やかな研究指導や、研究テーマ・研究計画を具体化することを目的として、博士後期課程論文指導研究会を実施しました。

当日は、多くの教員や学生が聴講する中、発表者は自身の研究に対する目的、方法、結果及び考察等について口頭発表を行いました。その後の質疑応答の時間では、活発な質問や助言等があり、交流会には熊本大学

発表者にとつて幅広い視点で研究を考へることができ、有意義な研究会となりました。また、連携大学院（国立スポーツ科学センター、熊本大学及び筑波大学との共同専攻）に在籍している学生及び教員は、テレビ会議システムを利用して、現地から発表や聴講を行い、論文指導研究会後には、第1回連携大学院教育プログラム交流会（鹿屋体育大学・熊本大学・鹿児島大学）が開催されました。



福永哲夫名誉教授（前学長）秋の叙勲「瑞宝中綬章」受章

平成29年秋の叙勲で、鹿屋体育大学の福永哲夫名誉教授（前学長）が瑞宝中綬章を受章しました。

福永名誉教授は、東京大学教授、早稲田大学教授を経て、平成20年8月に鹿屋体育大学長に就任し、平成28年7月までの



平成二十九年秋の叙勲 勲章伝達式場

竹中健太郎准教授 文部科学大臣賞「スポーツ功労者」受章

鹿屋体育大学スポーツ・武道実践科学系の竹中健太郎准教授が、文部科学大臣より「スポーツ功労者」として顕彰されました。これは、竹中准教授が平成27年3月の世界剣道選手権大会においてコーチとして女子代表の指導にあたり、団体1位へ導いた功績が讃えられたものです。

11月15日にはその功績を賞し、同大学において授けられました。竹中准教授は、「現在も来年の世界選手権の強化合宿にコーチとして毎月参加している。この合宿には本学の選手も参加しているの、今回の世界選手権には是非本学の選手も連れていきたい」



南竹成己（施設課職員）氏 文部科学大臣賞「社会教育功労者」受賞

鹿屋体育大学事務局施設課の南竹成己氏が、文部科学大臣賞「社会教育功労者」として表彰されました。

同氏は、趣味の登山やクライミングを地域の社会貢献として活かしたいという想いから、近隣の国立大隅青少年自然の家、主催事業へ長年参画。また、県山岳連盟所属員として講師や指導者、国体監督等を務めるなど様々な社会教育の振興に貢献していることが評価され、このたびの表彰となりました。



学内行事 1 月

- 4日 仕事始め
- 9日 授業再開
- 10日 卒業研究提出締切日（4年次）
- 13日 大学入試センター試験（～14日）
- 15日 大学院学位論文提出締切日
- 21日 大学説明会（東京サテライトキャンパス）
- 22日 補講期間（～2月2日）
- 24日 学位論文発表会（博士後期課程）（～2月7日）
- 27日 学位論文発表会（修士課程）
- 学生宿舎餅つき大会

事務局から

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費（寄付金）は一口 企業三万円、個人一万円からです。

本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費（寄付金）につきましては税法上の優遇措置があり、二万円を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。

※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

- ・鹿児島銀行鹿屋支店（普）九三三〇六七
- ・鹿児島興業信用組合西原支店（普）二五八二二一
- ・鹿児島相互信用金庫西原支店（普）〇〇四三八〇

△口座名義△

公益財団法人 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団理事長 風呂井敬
本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

ありがとうございます